



広瀬小学校 開校150周年 記念たより ①



令和5年5月26日 校長 杉谷 崇

今年で開校150周年を迎えるにあたり、皆さんと一緒に広瀬小学校の歴史を学び、広瀬小学校の素晴らしさを共有できたらと思い「広瀬小学校 開校150周年 記念たより」を作りました。児童の皆さんは自分で読んでみて、聞きたいことがあれば先生やおうちの人に聞いてみてください。低学年の皆さんは、ぜひ担任の先生やおうちの人と一緒に読んでみてください。来週には「150周年記念運動会」があります！

開校はいつ？

明治5年の太政官布告により「学制」が頒布され、広瀬小学校は、翌年の明治6年11月18日に「第4大学区第19中学区第4番小学」として現在の場所に開校しました。そして、翌7年4月に学区改正に伴い「第4大学区第19中学区広瀬小学」と名称が変わりました。その後、広瀬町尋常小学校、昭和16年に広瀬町国民学校に、そして、終戦後の昭和22年には、広瀬町立広瀬小学校へと名称が変わりました。

その後、昭和40年に「菅原小学校」を統合し、昭和46年には「下山佐小学校」を統合しました。さらに平成16年には「宇波小学校」を統合し、現在の広瀬小学校へと続いていきます。

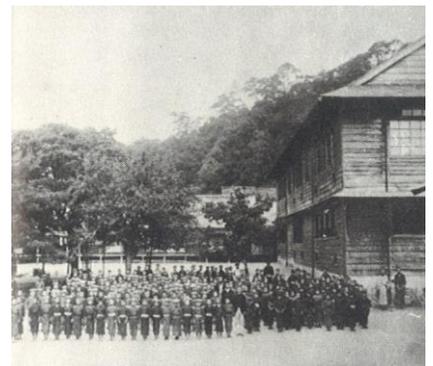
全校児童数はどれくらいだった？

現在の広瀬小学校は198名ですが、開校当時は249名（男子214名、女子35名）もいたそうです。しかし、先生は5名しかいなかったそうです。児童数に比べると先生が大変少ないですね。その後は増え続け、明治時代の終わりには609名もいたそうです。以後増減を繰り返し、昭和33年は過去最多の882名がいたそうです。この多さには驚きますね。それからは少しずつ減り、現在に至ります。

広瀬小学校のすごいところは？

広瀬小学校の100年史に書いてあったことを参考に、広瀬小学校のすごいところ4つを紹介します。

- ①開校時から校舎の場所が少しも変わらず今に至っているところ。また、県内でも他にはない家老庭園（校長先生のお庭と呼ばれている）を持ち、立地条件にも恵まれていること。
- ②創学当時、文部省督学官による学校表彰を受けていること。学習が極めて盛んであり、県下第一等の学校と賞賛されていたこと。
- ③大正4年にあった「広瀬大火」という火事に見舞われて校舎が失われた際に、広瀬町の再建が危ぶまれたにも関わらず、学校再建が第一だと町民から声上がり、官民一致団結して翌年には再建できたこと。
- ④「不撓不屈」の精神が広瀬教育のバックボーンになっていること。郷土の英雄「山中鹿介幸盛」の精神が、開校時の明治から、大正、昭和、平成、令和の今に至るまで伝承され、時代は変われど、希望新たに、たゆみなく進もうとする校風は生き続けていること。



【明治34年当時の校舎】

いかがでしたか？広瀬小学校ってすごいでしょ！他にも学校の秘密がたくさんあるので、また紹介します。みなさんも、この歴史ある広瀬小学校の一員として、先輩に負けぬように頑張りましょう。